

トレードジャーナル作成要領

マルチタイムフレーム分析の習得には、チャート画像による記録・トレードジャーナルの作成が欠かせません。

そして、トレードジャーナルとは、自分が生み出した「世界に一つだけの作品」です。

ただ我々は、相場から利益を引き出す実務者ですから、トレードジャーナルを作ることを仕事にはしてはいけません。トレードジャーナルの作成は、あくまで自分が成長し続けるためのツールであると認識してください。

しかし、トレードジャーナルによって、「どこまで緻密にチャートを分析できるか」というあくなき姿勢は、目には見えなくても確実にあなたの分析力を養っていきます。ある意味、単調になりがちなこの作業をどのレベルで実現できるかが、3か月後のあなたのステージベルを決めるといっても過言ではないでしょう。

青牛式トレーダースター講座

さてここでは、私が作成している方法を例として基本的な作成要領を解説していきます。

私が使用している環境などは、次のとおり

- ・ Windows 標準のペイントにプリントスクリーンで貼り付け
- ・ ペイント形式で保存
- ・ EverNote に保存・タグ付けし管理

※この EverNote は、数年に渡って使用しておりデータを全て管理しているため、わざわざプレミアム会員にまでなっています。

それでは、次のページから実際のトレードジャーナルを使ってみていきましょう。

まず 1 枚目は、時間軸の配置と解説の役割。



青牛式トレーダースター講座

2枚目は、環境認識時にそれぞれの時間足を上位足からカテゴリー化し捉えていることの解説画像です。



また、H1、M30 のセットアップはこれまで「Meso Set Up」として表現してきましたが、英語に堪能なメンバーから「Middle」の方が適しているとのことご指摘をいただいたため、今後は「Middle Set Up」として表現していくことにします。

青牛式トレーダーマスター講座

私のトレードジャーナルに記載している表記について説明します。

- ・【Macro Set Up】 W1、D1、H4 でのセットアップ
 - ・【Middle Set Up】 H1、M30 でのセットアップ
 - ・【Micro Set Up】 M15、M5 でのセットアップ
 - ・UTRD・DTRD アップトレンド・ダウントrend
 - ・SPL・RSL サポートライン・レジスタンスライン
 - ・TRDL トレンドライン
 - ・ETR エントリー
 - ・TGT ターゲット
- ざっとこんな感じです。

これについては、そもそも他の誰かへ見せるために作るものではないので、自分が作成、編集しやすいように独自のルールを決めていってもらえれば十分です。

ただ後々、私にトレードジャーナルの添削を依頼することを考えているようであれば、なるべく難解な表現は避けてください。笑

あと、青牛式トレードバイブルに記載したセットアップの表記でいくつかタ

青牛式トレーダーマスター講座

イプミスがありますがご容赦ください。

次に、この画像について説明します。



MT4 上で、Alt+3 を押すことで表示できる線状のチャートですが、そのローソク足が「終値ベースで」更新があったのかを把握するために今でもよく使っています。

以前は、このようにトレードジャーナルにもすべて挿入していたのですが、これに関しては結構な労力なので取り入れるかは各自で判断してください。

また、トレードジャーナルを Evernote で管理するにあたって次のようにカテゴライズしています。

青牛式トレーダーマスター講座

- ・ good ・ ・ ・ 勝ちトレード
- ・ bad ・ ・ ・ 負けトレード
- ・ analyze ・ ・ ・ エントリーはしていないが、記録しておきたいチャート
- ・ etc ・ ・ ・ パターンの収集や自身のトレードの傾向と対策など

更にこれらをタグで管理しています。

《タグの一例》

Good Bad Analyze UTRD DTRD 鉄板パターン 勝ちパターン

負けパターン トレンド転換 トレンド転換失敗 トレンドの終焉

ミクロトレンド転換 転換初動 RSSP 転換 サイクルクローズ 利確○・×

レンジ 波形スケール縦軸・横軸 波形リズム 良質波形 秩序 押し目買い

パターンタイム ストップ刈り レンジブレイク 優位性 基準境界線復帰

急落 急騰 爆上げ 爆下げ 大底 FLUSH MA サポート MA 反発

僅かな押し目 複合優位性セットアップ ※順不同

青牛式トレーダーマスター講座

トレードジャーナル作成についての説明は以上です。

私自身、誰かに教わったわけではなく特に決まったルールはありませんから、各自で自分に合ったトレードジャーナルの作成要領を身につけてください。

※この内容は、環境認識のコンテンツと内容が一部重複する可能性があります
がご了承ください。

あをうし